

映画のある生活 **Lab**
by Shochiku

**第3回レポート
調査報告データ集**

2019年7月

松竹株式会社

本件に関するお問い合わせ：marketing@shochiku.co.jp

調査目的

映画館での映画鑑賞が日々の生活にどのような影響を及ぼしているかを調査し、映画鑑賞がもたらしている効果や価値を明らかにする。

調査設計

- 調査手法 : インターネット調査
- 調査対象 :
 - ①対象年齢:15～69才男女個人
 - ②地域条件:全国
- 回収サンプル数: 2,230s

	母集団人口	(構成比)	回収数	(構成比)	ウェイト値
男性15-19才	3,090,372	3.5%	174	7.8%	0.45179527
男性20-29才	6,643,116	7.6%	177	7.9%	0.95472597
男性30-39才	8,007,355	9.1%	176	7.9%	1.15732832
男性40-49才	9,784,047	11.2%	185	8.3%	1.34532424
男性50-59才	7,753,023	8.8%	190	8.5%	1.03800068
男性60-69才	8,906,361	10.2%	194	8.7%	1.16782759
女性15-19才	2,942,630	3.4%	181	8.1%	0.41355878
女性20-29才	6,303,049	7.2%	181	8.1%	0.88583386
女性30-39才	7,700,751	8.8%	182	8.2%	1.07632111
女性40-49才	9,506,277	10.8%	198	8.9%	1.22130867
女性50-59才	7,711,759	8.8%	194	8.7%	1.01118795
女性60-69才	9,315,949	10.6%	198	8.9%	1.19685649
合計	87,664,689	100.0%	2,230	100.0%	

※母集団人口…平成29年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口(全国)

- 調査期間 : 2018年6月8(金)～6月11日(月)
- 調査協力 : 株式会社日本リサーチセンター

■第3回レポートの趣旨

第1回と第2回のレポートでは、「映画館での映画鑑賞行為が、“幸福度”を上昇させる」こと、どういう方が映画を通じて幸せを感じているのかについて報告してきました。※当調査において「生活満足」「充実感」「健康」「生きがい」「希望」の5項目を総じて“幸福度”と定義しています。

第3回では、映画鑑賞と教育について分析すると共に、国内外における映画教育の内容を一部紹介し、子どもたちが映画を通じて楽しみながら学びを得ている状況を報告します。

■調査結果

小学生時代の映画鑑賞経験と成人後の学歴や学力には相関が見られ、好奇心や文化への興味を高め、教育にポジティブな影響をもたらしていると言えそうです。

小学生時代の映画鑑賞頻度が増えるに連れ、現在の学力が高まる傾向にあります。

また多くの先行調査において、幼少期の読書経験が学力を向上させるという結果が出ており、本調査においても同様の相関が見られました。

小学生時代の活動が成人後にもたらす効果測定は難しいものの、映画鑑賞が読書同様に教育にポジティブな影響をもたらした可能性はあります。

そして学力以外では、「好奇心旺盛である」「日本や世界の文化に興味がある」などの項目が、映画鑑賞頻度が増えると顕著に高まる傾向がありました。子ども時代から映画鑑賞を通じて、世の中への興味の幅や積極性を広げた可能性は高そうです。

また、国内外で映画を用いた教育が長年に渡り実践されてきました。

子どもたちのみならず大人にとっても、映画を楽しむことが、見知らぬ世界や出来事に興味を抱ききっかけとなります。

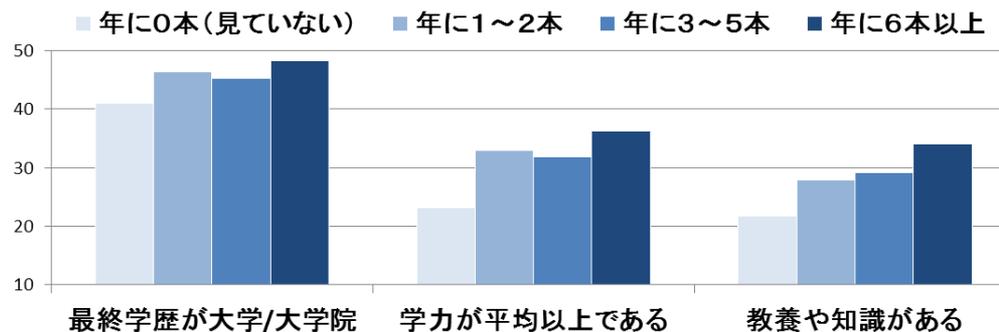
映画教育の場に参加され、親子で映画について話し合ったり、作ったり、様々な形で映画に触れてみてはいかがでしょうか。

1. 小学生の頃の映画鑑賞と学力

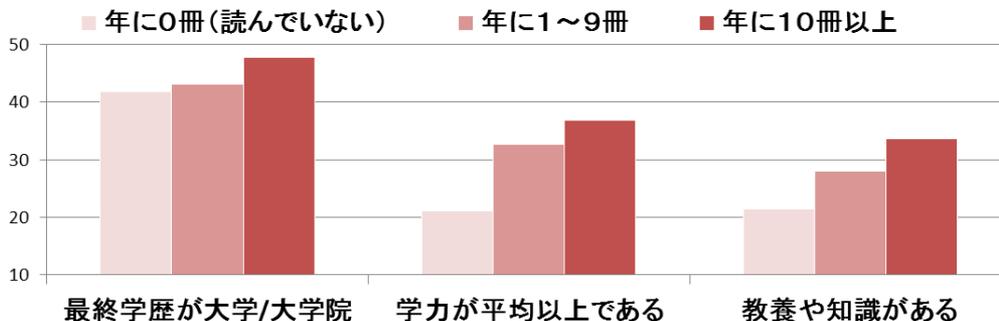
- 小学生の頃の映画鑑賞頻度が高まるに連れ、学力周りの数値が向上します。
- 小学生の頃の読書頻度も、高まるに連れ、学力周りの数値が向上します。

学歴以外は「非常にあてはまる」「ややあてはまる」合計%

【小学生の頃の映画鑑賞頻度】



【小学生の頃の読書頻度(コミック除く)】

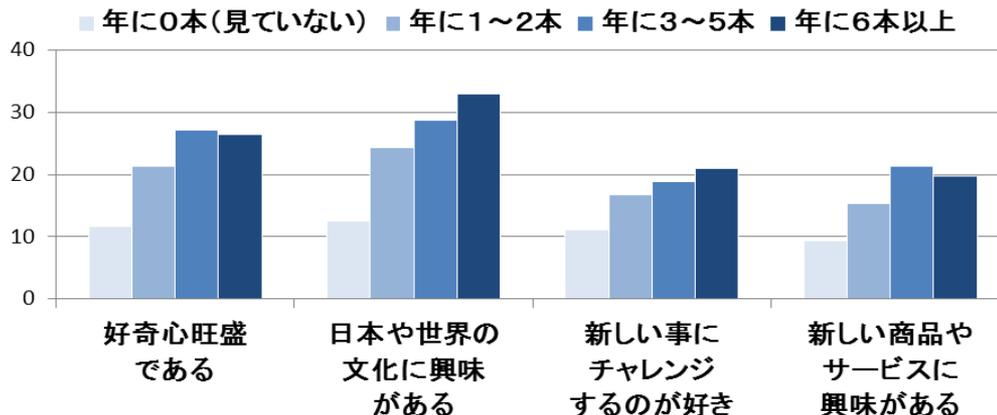


2. 小学生の頃の映画鑑賞と興味

□小学生の頃の映画鑑賞が高まるに連れ、好奇心や新しいことへの興味が高まります。

「非常にあてはまる」「ややあてはまる」合計%

【小学生の頃の映画鑑賞頻度】



□現在(成人後)の映画鑑賞の影響を除外するため、現在の映画鑑賞有無と小学生の頃の映画鑑賞有無を比較。

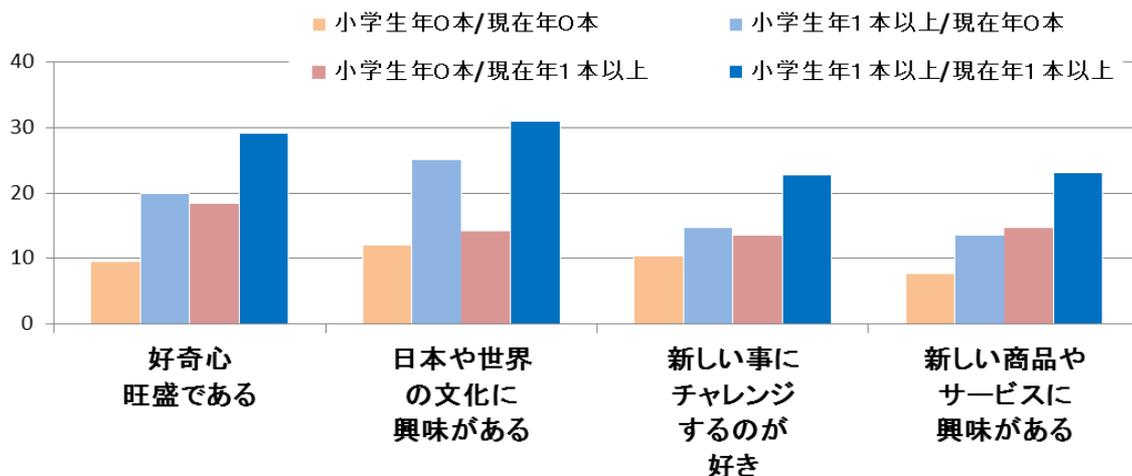
いずれの項目も小学生の頃の映画鑑賞有無で顕著な差が出ました。

「日本や世界の文化に興味がある」の項目は、現在よりも、小学生の頃の映画鑑賞の影響が顕著に大きい。

またいずれの項目も、小学生の頃から現在に至るまで映画鑑賞を続けている層が著しく高い。

「非常にあてはまる」「ややあてはまる」合計%

【小学生の頃の映画鑑賞頻度/現在の映画鑑賞頻度】



3. 日本や世界の映画教育

【日本】

- 「国立映画アーカイブ(www.nfaj.go.jp/learn/kids/)」
中学生以下を対象とした上映イベント「こども映画館」を毎年開催。
- 「一般社団法人こども映画教室(www.kodomoeiga.com/)」
2004年から「こども映画教室」を開催。子どもたち自身が映画を制作するワークショップや名画の鑑賞を通じて、次世代の文化を担う、創造力豊かな子どもたちの育成を目的に活動しています。

【イギリス】

- 「Into film(www.intofilm.org/)」
1980年代から映画教育が始まり、現在は“Into film”に受け継がれ、5-19歳を対象に映画鑑賞や映画制作などの教育プログラムが用意されています。2017年に開催された“Into Film Festival”では486,289人の子どもたちに映画館で無料で鑑賞する機会を提供。教育プログラムを行った教師の81%が「生徒の想像力と創造性が向上した」と答え、また78%が「対話力などのソーシャルスキルが向上した」と回答するなど、映画教育の成果を示しています。

【フランス】

- 「école et cinéma(enfants-de-cinema.com/ecole-et-cinema/)」
1994年に始まった幼稚園児と小学生に映画館で映画を見せる教育が浸透しています。2017-18年度の実績として、11,579校の約100万人が授業の一環として、推薦された世界中の名作を映画館で鑑賞。

4. 映画鑑賞者の声

口現在映画が大好きな方々に、映画にハマったきっかけを尋ねると、多くの方が子ども時代の映画鑑賞だと回答されました。子どもの時に見た映画が人生に影響を与えたという声もあり、映画は子どもの感性に訴えかける力があるようです。

◇映画にハマったきっかけ ※2018年6月、10月に実施した定性調査より抜粋

一小学生の頃、父親に連れられて「スター・ウォーズ エピソードⅢ シスの復讐」を観に行きました。当時は内容をほとんど理解できませんでしたが、その世界観にとっても魅了されました。その後、シリーズ全作品を何度も見返しました。母や姉の影響で昔からディズニー映画をたくさん観てきたこともあって、そこから一気に映画ファンになりましたね。(20代男性)

一両親が映画好きだったため、小さい頃から気づいたら映画に触れていました。なので、あまりきっかけというものはないのですが(笑)もともと当たり前のような存在であった映画を“より一層”好きになったきっかけは『ターミネーター2』の存在です。あの映画がすごく面白すぎて、こんな物語や世界観が映画なら現実のものにできるんだ！と子供心ながらに思って、映画というものをさらに好きになったと思います。(30代男性)

一祖父→母→私→娘と映画好きです。生まれて初めて映画館というよりどこかの商業スペースで観た映画は、寅さんシリーズ『男はつらいよ』でした。小学校1年生の時、祖父に連れていってもらい、なぜか一人で観させられました。でも不思議と引き込まれて、退屈な時間はなかったです。(40代女性)

一元々母親が映画が好きで小さい時からよく映画館へ連れて行ってもらっていました。決め手になったのは学生時代に『シザーハンズ』と『ショーシャンクの空に』を観たときです。あの映画を見てこの人のほかの作品もとか、次の作品もみようとかどんどんのめり込み、字幕なしで映画が見たいと英語の勉強も始めました。その後海外で暮らしたり働いたりできたのは映画のおかげだと思っています。(40代女性)

一父が映画や音楽が好きなので、子供の頃、映画館に連れて行ってもらったり、レンタルしてきた映画を家族でよく観ていました。家では音楽もよく流れていました。それで私も、洋画や洋楽が大好きになりました。子供の頃、夢中になった映画は、「E.T.」「グーニーズ」「スタンド・バイ・ミー」「ネバーエンディング・ストーリー」などです。(40代女性)

一小学生の時、ある映画と出会いました。どうしても劇場で1人で観たくて、母に頼むと「お手伝いしたらお駄賃あげるからそれを貯めれたらいいよ」と。時期がちょうど夏休みだったので、いろんな手伝いをしましたね。そして、貯まったお金を大事に持って母に映画館の前まで送ってもらい、チケットとポップコーンを買って観た映画は格別なものがありました。シネコンが近所になく、お世辞でもきれいな映画館ではなく、今みたいにイスがふかふかでもなく、でも自分1人で映画を観るという経験が小学生の私にとってちょっと大人になったような経験で。あえておこづかいを渡すだけではなく、お手伝いしてと言った母のおかげで、よりいっそう自分で頑張ったから観れた！そんな経験でした。そこから映画を観る魅力に取りつかれて、今があります。母には感謝です。笑
その作品は、『レ・ミゼラブル』です。(20代女性)